

薬剤師の養成及び資質向上等に関する検討会開催要綱

令和2年1月19日
医薬・生活衛生局総務課

1. 目的

今後、少子高齢化が進行し、人口減少地域が増大することが予測される中で、人口構造の変化や地域の実情に応じた医薬品提供体制を確保することが求められる。また、薬剤師に関しては、薬学教育6年制課程が平成18年に開始されて以降、地域包括ケアシステムの一員としての薬剤師の対応、医療機関におけるチーム医療の進展、「患者のための薬局ビジョン」におけるかかりつけ薬剤師・薬局の推進、令和元年12月に公布された改正薬機法など、薬剤師に求められる役割が変化している。このような状況から、今後の薬剤師の養成や資質向上等に関する課題について検討する。

2. 検討項目

- (1) 薬剤師の需給に関する事項
- (2) 薬剤師の資質向上に関する事項
- (3) 今後の薬剤師のあり方
- (4) その他

3. 構成員

- (1) 本検討会は、別紙の構成員により構成する。
- (2) 座長は必要に応じ、構成員以外の関係者の出席を求めることができる。
- (3) 本検討会には、オブザーバーとして文部科学省高等教育局医学教育課も出席する。

4. 検討会の運営

- (1) 本検討会は、医薬・生活衛生局長が開催し、本検討会の庶務は、医政局総務課の協力を得て、医薬・生活衛生局総務課が行う。
- (2) 本検討会の下に、必要に応じて、検討会で議論される内容について、より専門的かつ技術的な事項について具体的に検討を行うワーキンググループを設けることができる。
- (3) 検討会は原則として公開するとともに議事録を作成し、公表する。
- (4) この要綱に定めるもののほか、本検討会の運営に関し、必要な事項は、会議において定める。

(別紙)

薬剤師の養成及び資質向上等に関する検討会構成員名簿

- 赤池 昭紀 和歌山県立医科大学薬学部教授
- 安部 好弘 公益社団法人日本薬剤師会副会長
- 榊原 栄一 一般社団法人日本チェーンドラッグストア協会副会長
- 高田 龍平 東京大学医学部附属病院教授・薬剤部長
- 武田 泰生 一般社団法人日本病院薬剤師会会長
- 中島 真弓 東京都福祉保健局健康安全部薬務課長
- ◎西島 正弘 一般社団法人薬学教育評価機構理事長
- 野木 渡 公益社団法人日本精神科病院協会副会長
- 長谷川 洋一 名城大学薬学部教授
- 羽柴 知二 第一三共株式会社執行役員渉外管掌
- 藤井 江美 一般社団法人日本保険薬局協会常務理事
- 政田 幹夫 大阪医科薬科大学招聘教授
- 宮川 政昭 公益社団法人日本医師会常任理事
- 山口 育子 認定 NPO 法人ささえあい医療人権センターCOML 理事長

◎ 座長、○ 座長代理

(五十音順：敬称略)